

ウィリアム・モリス

——芸術家・作家・社会主義者——

平成7年2月28日～3月24日

ウィリアム・モリス(Morris, William 1834～1896)のデザインは今なお多くの人々の心をとらえています。「日常生活の身のまわりのものを美しくする」芸術としての「小芸術(レッサー・アーツ)」を提唱、実践した彼の装飾デザイナーとしての業績は、ステンド・グラスや壁紙から織物類、邸宅の内装にまで及んでいます。また、モリスの設立した印刷所、ケルムスコット・プレスから生み出された書物は、その美しさが愛好されているだけでなく、20世紀のブック・デザインの理論に深い影響を及ぼしました。

しかし、モリスの功績はこうした分野にとどまりません。生前の彼の名声を支えたのは『地上楽園』を始めとする詩作によってであり、古代北欧文学の翻訳も旺盛に行いました。

一方、モリスは社会主義に関する著述や講演を行い、「社会主義同盟」の機関誌『コモンウィール』の編集にたずさわるなど、政治活動に力を入れました。こうした多岐にわたる活動の根底に流れる思想は同じであり、モリスにとっては必然の行為だったのでしょう。

様々な業績を残し、多くの矛盾や問題点を抱えた、この魅力的な人物の一端がうかがえる資料をご紹介します。

展示資料リスト

A. ケルムスコット・プレス

ケルムスコット・プレスは、モリスが1891年に設立した私家版印刷工房。当館は53書目66点すべてそろったコレクションを所蔵しており、古典籍資料室で扱っている

1. The Ideal Book

William Morris 著

University of California Press 1982

<UE71-A3>

書物芸術を主題とした論文と講演を集めたもの。展示ページは『ケルムスコット・プレス設立趣意書』(1896年)

2. ケルムスコット・プレス図録

関川左木夫、コーリン・フランクリン著

東京 雄松堂 1982.5 228p

<UM31-3>

原本の形態をできるかぎり正確に伝えるため、実物を写真に撮って図録にして解説している。

原形になっているのは、株式会社モリサワの所蔵する全巻セットで、特装版や献呈本を含む非常に質の高いものである

3. William Morris and the Art of the Book

William S. Peterson 著

Oxford University Press 1991

『チョーサー作品集』は、ケルムスコット・プレスの最高傑作として名高い。バーン＝ジョーンズによる木版挿絵 87 点が入っている

4. 太陽 1989年6月号

<Z23-14>

B. デザイン

モリスは 1861 年に友人らと共にモリス・マーシャル・フォークナー商会(後にモリス商会)を設立し、壁面装飾、家具、ステンドグラス等の制作を行った。彼自身が得意としたのは、壁紙、チンツ、タイルなどの平面デザインであった

5. ウィリアム・モリス

ウィリアム・モリス著 ジリアン・ネイラー編 ウィリアム・モリス研究会訳

東京 講談社 1990.11 262p

<KC521-E316>

6. ウィリアム・モリス アーツ・アンド・クラフツ運動創始者の全記録

クリスチーン・ポールソン著 小野悦子訳

東京 美術出版社 1992.11 128p

<GK467-E14>

7. ウィリアム・モリスのテキスタイル

リンダ・バリー著 多田稔、藤田治彦訳

東京 岩崎美術社 1988.10 190p

<KB441-E26>

8. ウィリアム・モリスの壁紙デザイン

ウィリアム・モリス画 ペギー・ヴァンス序文 海野弘訳・監修

東京 千穂館 1990.5

<YP13-654>

C. 文学

9. ウィリアム・モリス展カタログ

ブレントラスト編 土居義岳ほか訳

東京 ウィリアム・モリス展カタログ委員会 1989 188p

<KC521-E93>

写真の『地上楽園』は、同時代に最も人気を博し、モリスの詩人としての地位を確立した物語詩。
初版は1868年から70年にかけて刊行されたが、これは1890年刊行の版

10. 世界のかなたの森

ウィリアム・モリス著 宇喜田敬介訳

京都 東洋文化社 1980.6 271p

<KS164-262>

モリスが自分の楽しみのために書いた後期の散文ロマンスのひとつ。同時代には受け入れられなかったが、最近になって再評価されている

11. Fortnightry Review 1868年10月

<Z55-A380>

モリスの詩“The Two Sides of the River”を掲載

D. 社会主義者として

12. ウィリアム・モリス伝

フィリップ・ヘンダーソン著 川端康雄ほか訳

東京 昌文社 1990 630, 27p

<KS124-E15>

図版左上は、モリスの社会主義運動を風刺した漫画。左下は、モリスが1883年～84年に加盟していた「民主連盟」(のち社会民主連盟と改称)のために彼がデザインした会員証

13. ユートピア 無何有郷通信

W.モリス著 村山勇三訳

東京 春秋社 1948 336p

<F33-Mo78ウ>

一社会主義者の語る夢物語という形式のうちに、革命を経た200年後のイギリスを理想郷として描く。モリスらが結成した「社会主義同盟」の機関誌『コモンウィール』に、1890年に連載された